

第 212 号

発行日：2017年5月1日
発行人：神 立 秀 明
〒950-2172 新潟市西区内野上新町11810番地3
TEL 代表(025)264-5000
FAX(025)261-4430
在宅ケアセンターゆうばえ内



夕映えの会

住民の声

地域でささえあう

こどもは地域の宝 ひまわりクラブと関わって



株式会社 鈴建
代表取締役
山五十嵐保育園理事
鈴木秀夫

工務店として市内全域のひまわりクラブとお付き合いさせていただいで10年ほどになります。主には建物・設備などの修繕ですが、全市で148施設になります。事業は新潟市が実施していますが、運営管理は新潟市社会福祉協議会が行っています。私どもへの仕事の発注は、新潟市社会福祉協議会からとなります。

平成28年からひまわりクラブ入所が6年生まで引き上げられました。子どもたちの受け入れ枠が広がったわけで、地域によっては入所希望者が随分と増えたところもあつたようです。

品に中々忙しくなります。中には児童数が減ったので、余ったそれらを持って行って保管しておいてくれという依頼もあります。大工を送ったり、電気・水道・建具など関連業者を仲介したりします。工事の段取りや調査・打合せなどに随分な手間がかかりますが、これも何かの縁と思つて関わり続けています。

ひまわりクラブでの作業では、子どもたちへの安全配慮という面が最も大きい要素です。今は電動工具の時代、子どもたちは大工をはじめ職人が使う電動工具に目を輝かせて寄つてきます。「おじさん、これ何？何に使うの？やってみて？」ときまかないと大変に危険です。

内野ひまわりクラブはプレハブ建、西内野ひまわりクラブは西コミセンと学校内の2カ所ですね。各ひまわりを廻つてみて、プレハブ建設と狭いクラブにやはり胸を痛めます。次の時代を背負つていつてもらう子どもたちに、何と失礼な対応だろうと思ひます。もちろん子供一人当たり〇㎡という基準があつて適合はしているのですが、育ち盛りの学齢児が飛んだり跳ねたり、駆け回つたりするスペースはとうにありません。

地域から子どもたちの声が消えて久しいですね。私の住む五十嵐三の町本村も、以前は子どもたちの遊ぶ

姿があちこちで見られました。今は子どもたちを探すべきです。

学校の指導なのでしようが、子供たちが登下校の際、大きな声であいさつをしてくれます。私は子供たちからのあいさつを受けると、一日中の元気を貰えたような気がしてとても嬉しくなります。私も大きな声であいさつを返します。「高齢者の元気の源は、地域の子供たち」、そんな気がしてなりません。

最近ひまわりクラブからの発注で、駒回し台なるものがきて喜んでいます。三尺角の板に縁を付けて、駒が飛び出さないようにしておきます。紐を結えて回す古来の駒、こんな遊びを子供達には経験して欲しいと思ひます。

3月、山五十嵐保育園でも卒園式がありました。卒園証書を貰つた子供たちが保護者に手渡す場面：。

「6年間、お弁当をつくつてくれて、ありがとうございます」。

「ママの子に生まれてきてくれて、ありがとうございます」。

0歳児から入園したM君とママに思わず涙があふれました。



利用者アンケート結果で 苦情処理に関する第三者委員と懇談



苦情処理第三者委員の
板垣厚一様と野村キヨ様

2月に実施したゆうえい会利用者アンケートが、このほどまとまりました。121名の皆さまからご回答をいただきました。心から感謝申し上げます。

ご利用者の皆さまの声を施設運営に反映するため、苦情処理に関する第三者委員の板垣厚一様と懇談しご意見をいただきました。懇談にはゆうえい会から久住一男理事長、高橋実事務局長、古俣聡子リスク管理委員長が出席しました。なお野村キヨ様は急な所要のため欠席されましたが、後日アンケート結果をご説明させていただきました。

食の確保 と見守り

安心して地域で暮らし続けるために

ゆうばえの配食をご利用下さい



ゆうえい会では地域で暮らす皆さまをサポートするため、地域配食を実施しています。病院等から自宅に帰る際、食の確保はとても重要です。退院の際、看護師やケースワーカーにご相談下さい。

けに献立を用意、柔らか目で栄養バランスのとれた、高齢者に優しいお食事です。日曜日を除く週6日間、お届けします。

お申し込みは専用電話

070 4453 5228

1食 600円

担当 小島までご連絡下さい。

※電話番号が変わりました。

お掛けまちがいのないようお願いいたします。

ゆうばえの配食は、高齢者のお一人暮らし・お二人暮らしの見守りを兼ねて、ご自宅にお配りしています。ゆうえい会の給食を担当する栄養士が高齢者向

「健やガシニッ」してます！

第39回 夕ばえに 頬そめし人 美しく



本間 スミ子 (五十嵐中島3)

大正9年生まれ
の主人と大正
13年生まれの私
は、昭和22年に
結婚しました。
実に70年間私た

ち夫婦は連れ添ったのですね。

若い頃、短歌らしきものを二、三作った事がある私ですが、それきり遠ざかって居りました。ゆうばえのデイサービスにお世話になり始めた頃につくったのが巻頭の俳句です。玄関から見える夕映えの、あまりの見事さに感動し詠みました。モデルはゆうばえの職員さんでした。

それ以来俳句・短歌を楽しく作って来ました。はじめは四季折々の歌でしたが、夫の認知症が進むにつれて、介護の歌が多くなりました。何となく出してみた拙い作が「NHK介護百一首」に入選させていただきました。

一日に何度も着替えるする夫

夏になつたり冬になつたり

半袖姿だった主人がしばらくして長袖を着て、おまけに重ね着までしているの、「もう夏ですよ。寒くないでしょう」というと「俺は寒い。人それぞれだ」と言いながら、すぐにまた元の半袖に戻る忙しい人です。

夫の病の歌ばかり多くなり世間の皆さまに知られることに少しとまどいもありましたが、皆様に知っていただいた方が良いことに気づきました。

スポーツ好きで生真面目。決めたことはやり通す頑固さも持つ主人は公民館で書道を教えていました。ところがある日、公民館の方から電話があり主人の認知症の進行を知りました。90歳になる頃のことでした。

入院の吾を見舞ってくれし夫
今はひとりバスにも乗れず
数年前私が入院した際には、足繁く私を見舞ったくれた夫でしたのに...

長年の散歩スポーツあだになり
徘徊ばかり重なる夫に

今でも毎朝のラジオ体操は欠かさない夫です。先日もご近所の方が見つけてくれて一緒に散歩して連れて来ていただきました。そんな夫が不憫でもあり、また愛おしいとも思います。

夫と通う週3日のデイサービス、家々のお庭に咲く花を楽しみながら私たちの夕映えのときを過ごしています。

西のそら茜にそめて日はまきにしずまんとする赤々燃えて
私の心境です。



認知症の人とともに生きる

公益社団法人 認知症の人と家族の会
新潟県支部 副代表 等々力 務

第四話 『認知症サポーター養成講座への提言』

厚労省が進める認知症サポーター養成講座を受講すると、認知症サポーターになることができます。サポーターの活動はボランティアで、認知症の人の応援者として認知症を正しく理解し、偏見を持たず、認知症の人や家族を温かく見守ることです。県内には157,894人（平成28年3月31日現在）もの大勢のサポーターがいます。

サポーターには、認知症を支援する目印としてオレンジリングというブレスレットが渡されています。しかし、オレンジリングを付けている人が少ないことが気になります。また、サポーターが実際にはどのような活動をしているのかが伝わってこないのが現状です。養成講座に参加される人は、少なくとも参加をしていない人よりも認知症に関心があり、認知症の人や家族に対して協力や支援をしたという気持ちを持っている人が大勢なので、もったいなく思います。

一回の養成講座を受講しただけでは、時間が経つと共に意識が薄れてしまうのも無理はないと思います。サポーターを対象にしたフォローアップ講座を開催するなどの工夫が必要です。また、先進的な地域では、サポーターが認知症の人や閉じこもりがちな高齢者のお宅を訪問し、お茶飲み相手になることや、地域の茶の間を開設するなどの取り組みが報告されています。

先日認知症のご主人を看ている奥様より、「リングを付けている人に支えてもらおうとか助けてもらおうということは思いません。ただ、リングをつけている人を見ると自分たちの理解者がいるようで嬉しい気持ちになるのです」という話を聞きました。

今後さらに増加する認知症の人を地域で支えるためには、サポーターを上手に活用していく体制づくりが有効です。

夕映えの会 第25回定期総会のご案内

2017年5月14日（日）
13時30分
西コミセン 和室にて



夕映えの会
会長 神 立 秀 明

風薫る5月、第25回夕映えの会総会の開催をご案内いたします。夕映えの会が結成されて今年度、四半世紀を迎えます。お陰様をもって、ここまで歩き続けることができました。これまで夕映えの会を支えて下さった地域の皆さまに、深く感謝申し上げます。

第25回定期総会は、介護保険から要支援者が切り離され、新潟市の総合事業に移される時に開催されます。まじめに保険料を納めてきた多くの方々を、介護保険制度の枠外に追いやる施策に憤りを禁じ得ませんが、夕映えの会は要支援者の皆さんを全力で支え、従来にも増して「暮らし続けられるまちづくり」に取り組む決意です。今後とも引き続き御支援をお願いします。

2017年3月末日をもって、NPO法人新潟夕映えの会は発展的に解散し、夕映えの会（任意団体）がNPO法人の業務を継承しました。新たなスタート台に立ったものとして、心引き締めて活動したいと思います。

今総会では、①支えあいの生活支援活動を大きく発展させること②多世代が支えあって暮らすまちづくりについて議論し行動を決める総会となります。会員の皆さま、ふるってご参加ください。

カッオ
水蒸竹の子 200g
ねぎ 120g
ごま油 10cm(約30g)
しょうゆ 小さじ1
しょうが 小さじ1
(せん切り) 1/2かけ
みりん 小さじ2
粉さんしょう 少々

①カッオは7〜8mmの厚さに切る。竹の子は5mmの厚さに切る。ねぎは斜め薄切りにする。
②フライパンにごま油としょうがを入れて中火で熱し、香りが立ったら①を加えて炒める。
③カッオに焼き色がついたら、みりん、しょうゆを加えて炒める。汁気がなくなったら粉さんしょうをきって混ぜ、器に盛る。



ゆうえい会
管理栄養士
芦岡 実可子

芦岡さんの
ご飯ですみー！

「カッオと竹の子のさんしょう炒め」
カッオに含まれるDHA（ドコサヘキサエン酸）は脳の働きを活性化し、EPA（エイコサペンタエン酸）は血液をサラサラにする働きがあると言われております。タウリンも豊富に含まれており、肝機能を高める働きがあるようです。この時期出回る「初カッオ」は、秋の「戻りカッオ」に比べて脂質が少なく比較的さっぱりしています。

事業所からのお知らせ

◆デイサービス

所内の装飾を一新しました。
4月より
①少人数レクを開始しました。
②体操、調理、趣味活動など17
の新メニューで楽しいデイの
取り組みがスタート。

2017 5 ミニイベントの お知らせ

◆小規模多機能 ゆうばえの家

■地域の茶の間
と き 5月26日(金)
ホールを整理し、スッキリとし
た装飾を施しました。

◆ショートステイ ゆうばえの里

■スターバックスコヒー
と き 5月9日(火)
■イチゴ狩り
日程が決まり次第ご連絡いた
します。
浴室・脱衣場が綺麗になりました。
フリードリントク始めました。

◆ケアハウス ゆうばえの里

■いつべこと歌おいね
と き 5月25日(木)
■リコーダーコンサート
と き 5月27日(土)

乞うご期待!

■生きいき資生堂美容教室
と き 6月8日(木)

地域の皆さまのご来所をお待ちしています。
一緒に楽しみましょう。

職員募集

介護職員 (常勤・非常勤)

・ショートステイ

「ゆうばえの里」

常 勤：夜勤のできる方
非常勤：日中の介護と送迎
勤務時間をご相談に応じます。

・小規模多機能

「ゆうばえの家」

常 勤：夜勤のできる方
非常勤：日中の介護と送迎
勤務時間をご相談に応じます。

お問い合わせ

TEL 264-5000

吉田まで

お気軽に
お問い合わせ
下さい。



今月の投稿者

五十嵐中島三丁目

茜峯様

隙をつき介護疲れでうた、寝の
われに知られず家を出る夫

花の名をきかれ紫蘭とおしえれば
しらんかったと夫はだじやれで

朝毎のデイサービスで通る道
家々の花たのしみにして

ゆうばえ歌壇



お出かけグルメツアー (ケアハウス)
4月は「プレジール」でケーキをゲット!



鳥屋野潟公園で花見を楽しみました。
(ショートステイ)

花も お団子も
ケーキも!

連絡先一覧

ゆうえい会配食部
070-4453-5228
(担当：小島明日枝)

夕映えの会生活支援
070-4314-3980
(担当：神立秀明)



ご寄付をお願いします

- ・牛乳紙パック
 - ・ルームランナー
 - ・エアロバイク (リハビリ用自転車)
 - ・古いタオル・シーツ
- デイサービス
ショート

編集後記

今回はひまわりクラブの修繕を通して
見える子供事情を鈴建さんからお聞きし
ました。家をつくる達成感とさらに子供達
に寄り添うお仕事。羨ましいと思えました。
デイサービスを「夫婦で利用されている
本間スミ子さん。短歌を通して認知症を
思うご主人を詠んでいます。「主人のこと
を知っていた方がいいことに気づき
ました」は達観だと思えます。認知症介
護は大変ですが、本間さんの歌には「主人
を思う気持ちがそこはかとなく感じられ
ます。本間さんは今年、短歌119首
俳句40句をまとめた本間スミ子歌集を作
られました。歌集名は「夕映え」です。
「茜色」がお好きで書道の号も茜峯。ゆう
ばえも、しつかりご夫婦に寄り添いたいと
思いました。(M記)